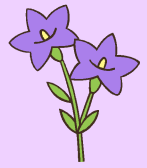


峰ヶ城

学校だより

令和5年9月15日

9月



チャンス・チョイス・チャレンジ (3C) の峰山小
～ Chance Choice Challenge ～

薩摩川内市立峰山小学校

散歩のついでに富士山に登った人はいない

校長 青崎 幸一

「散歩のついでに富士山に登った人はいない」という言葉があります。富士山に登ろうとしている人が歩いています。散歩をしている人も歩いています。どちらも歩いているのは同じなのですが、散歩のついででは決して富士山頂には到達できません。この違いは何でしょう。

それは、富士山に登ろうという目標に向かって歩いているかどうかの差です。富士山に登るという高い目標を達成することは、一朝一夕にはいきません。頑張っていることは同じでも、目標に向けて入念な準備や覚悟をし、目標を達成するための努力をすることが必要です。

例えば、小学校で学習する漢字は、1年生で80字、6年間で1026字です。この漢字を覚えるために、子どもたちは漢字練習をします。しかし、書き方には差があります。覚えていない漢字を覚えようと一心に書く子もいれば、何となく書いている子もいます。「できるようになる」という目標のある子とない子では違いが出るのは当たり前です。それどころか、いいかげんに書いて間違っただけの漢字を覚えたら、これから多くの場面で困るかもしれません。目標を持つことで、小さな積み重ねができるようになり、結果に大きな差がつくのです。漢字は、覚えようという気持ちを持って、正しく書く。音読は、ちゃんと声に出して、句読点を意識しながら正しく読む。授業中は、習うことを身につける気持ちで、先生の話や友達の発表を油断せずしっかり聴き、考える。そのためには、教師は児童の興味・関心を引き出す授業をしなければなりません。2学期のスタートにあたり、峰山小全職員が日々の授業を充実させていこうと強い気持ちを持っています。実りある2学期にするためには、学校と家庭が、担任と保護者が連携することが重要です。2学期も学校教育活動への御理解と御協力をお願いします。



全国学力・学習状況調査結果より

4月18日(火)に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の結果については、右欄にある通り全国・県を国語・算数ともに下回る結果となりました。本校職員一同、今回の結果を重く受け止め、危機感を持っています。そこで、全職員で夏季休業中に今回の結果をもとに、児童ができなかった問題を解いたり、具体的な対策について話し合ったりしました。児童ができていない問題の傾向は、国語では、複数の資料から情報を読み取り、自分の考えを表現する問題でした。ほとんどの児童が資料の内容は読み取れているものの条件に沿った文章を書くことができていませんでした。また、算数では図形に関する問題がほとんどできていませんでした。今後の対策としては、授業改善や定着の低い問題の類似問題の実施や苦手な領域での授業時間増に取り組みます。

児童質問紙では、家庭での学習時間が県・全国より少ないということも分かりました。家庭学習の充実という点で保護者の皆様にも御協力をお願いします。最も大切なことは子供たちにとって、楽しく分かる授業であると考えています。今後も授業改善に力を入れていきます。

10月行事予定

- 4日(水) 戦没者追悼式(5・6年)
- 5日(木) 身体測定・視力検査
- 13日(金) かごしま国体バスケットボール観戦
- 14日(土) 稲刈り
- 17・18日 修学旅行(5・6年)
- 19日(木) 5・6年休養措置日
- 20日(金) 脱穀
- 27日(金) クラブ活動

カヌー体験

8月6・20日(日)に、地域の方々の御協力で、今年も八間川でのカヌー体験をすることができました。また、今回は漁協による「うなぎの放流体験」も行われました。子供たちは、カヌーばかりでなく、生き物探しや水遊びなどで地域の自然を全身で感じ、地域のよさを実感していました。

子供大綱引大会

9月2日(土)に子供大綱引大会が行われました。4年ぶりの開催となりましたが、本校からも10人の児童とその保護者の方々が参加しました。22日(金)には川内大綱引が行われますが、今回の参加をきっかけに、地域行事を担う子どもたちが多く育ってほしいものです。



始業式

9月1日に始業式を行いました。42日という長い夏休みを大きな事故等無く過ごし、少しくましくなって帰ってきた子供たち。代表の3年生と5年生の2人から、2学期もしっかりがんばろうという気持ちが伝わる発表もありました。

子供たちの成長の機会となる様々な行事が多い2学期。子供たちがよりよく成長できるよう、しっかりと指導してまいります。



授業参観・元気塾

9月9日(土)に、授業参観と元気塾が行われました。

授業参観では、各教室で道徳の授業を行いました。よりよく生きるにはどうしたらよいか考える機会になったことと思います。

また、元気塾では、スクールカウンセラーの原公洋先生を講師招き、「自分大好き峰山っ子」という演目で講演をしていただきました。昨年度は自己肯定感を高めることの大切さについてお話しいただきましたが、今回は、自己肯定感を高めるためには、自分自身への誇り、自尊感情をもつことが大切であることを教えていただきました。自分への誇りや自尊感情は、社会や共同体といった人と人とのつながりの中で培われます。自分や他者とよりよく関り、自己肯定感・自尊感情を高めてほしいですね。



全国学力・学習状況調査(6年生対象)結果について

	国語	算数	平均
全国平均	67.2	62.5	64.8
県平均	67.0	61.0	64.0
本校平均	63.0	52.0	57.5
県との差	-4.0	-9.0	-6.5

本校は、国語、算数ともに正答率が県・全国を下回る結果となりました。その中で、国・算ともに「思考・判断・表現」に関する問題について課題が見られました。これまでも算数科を中心に「表現力」の育成を図ることをテーマに職員研修に取り組んできましたが、今回の結果を踏まえ、日々の授業で根拠をもって説明することを大切にした教師の具体的な働きかけを行い、さらにペアやグループ・ガイド学習等で考えや意見を交流するなどして、自分の考えを深めることができる活動を積極的に取り入れていくことで更なる向上を目指していきます。